

# 遠隔ICSI技術支援システムを用いた 多拠点を繋いだ技術指導の実際

9/4 WED

18:00 START

福永 憲隆先生

医療法人 浅田レディースクリニック 副院長/培養研究部部长  
浅田生殖医療研究所 副所長

不妊治療において世界で初めて体外受精による妊娠・出産に成功したのは1978年のことである。その後、1992年には世界で初めてICSIによる妊娠出産に成功した報告がされた。本邦では生殖補助医療が2022年に保険適用となり一般により身近な治療となった。これらの体外受精は全て胚培養士が行っているが培養業務に必要な技術は全て医療現場で身に付ける事となる。中でも特に**高い技術が必要な治療としてICSI**が上げられる。高い受精率が得られるICSI技術を身に付けるには指導者と研修者が1対1で顕微鏡に向き合う必要があった。

これまでは指導時に時間・場所・人が揃わず苦慮していたことから、2018年に**遠隔ICSI技術支援システム**を開発し導入した。このシステムは映像伝送システムを応用し高画質で低遅延が特徴であり、遠隔地で実施する顕微鏡作業を遅滞なくPCモニターに映し出すことができる。本講演では、このシステムを多拠点で繋いで行う**技術指導の実際**を紹介する。



ICSI/IMSI用電動倒立顕微鏡

ECLIPSE Ti2-1 のご紹介

演者：株式会社ニコンソリューションズ 滝口智司



申込方法

QRコードもしくは下記 URL の  
申込フォームよりご登録ください。



<https://go.healthcare.nikon.com/l/924973/2024-08-04/2v77bn>

お問い合わせ

株式会社 **ニコン** ソリューションズ

E-mail: Nsl-bio.Marketing@nikon.com